



2022

Report on Test
Takers Worldwide

TOEIC[®]
LISTENING
&
READING
TEST



目次

TOEIC®バックグラウンドアンケート	2
2022 年 TOEIC® Listening & Reading 受験者の特徴	3
TOEIC® L&R の国・地域別平均スコア	4
TOEIC® L&R のリスニングとリーディングのスコアの関係	6
カテゴリー別集計	6
年齢	12
性別	13
学歴	14
専攻科目	15
就業状況	16
業種	17
職種	19
英語学習期間	20
英語学習の際に最も重要視する言語技能	21
日常生活での英語使用率	22
最も使用する言語技能	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	24
英語圏滞在経験	25
英語圏滞在目的	26
TOEIC® Listening & Reading Test の受験経験	27
TOEIC® Listening & Reading Test の受験目的	28
資料 A TOEIC®バックグラウンドアンケート	29
資料 B 各設問の回答率	31
資料 C 地域別リスニングとリーディングスコアの相関	32

TOEIC®バックグラウンドアンケート

TOEIC®バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Listening & Reading Test（以下、TOEIC® L&R）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、TOEIC L&R 受験経験についての情報を収集する自己記入式調査です。アンケートへの回答から受験者のバックグラウンドや、TOEIC L&R のスコアと英語能力の向上に影響する要因を確認することができます。受験者は TOEIC L&R を受ける前に、TOEIC バックグラウンドアンケートに回答します。

TOEIC バックグラウンドアンケートの設問は本資料 29,30 ページ「資料 A」を参照してください。

本報告書は、2022 年に世界において全受験者が回答した TOEIC バックグラウンドアンケート結果に基づいています。

アンケート回答者はアジア地域の割合が高く、他の地域の結果を正確に反映していない場合があります。また、質問によって回答率が一定ではないため、本データに基づいた推測を行う際にはご注意ください（本資料 31 ページ「資料 B」）。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（%）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100%を超える場合があります。また表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 500 以上のものに限定しています。

2022年 TOEIC® Listening & Reading 受験者の特徴

バックグラウンドアンケートは、2022年に実施された TOEIC L&R 公開テストおよび IP テスト (Institutional Program : 団体特別受験制度) の全受験者を対象に実施しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 年齢層で最も多いのは 21～25 歳 (44%)
- 性別は 51%が男性、49%が女性
- 学歴は 57%が大学卒または大学在学中
- 専攻で最も多いのは「工学」で 25%、「教養学」が 19%、「経営学」が 18%
- 55%が「全日制学生」で 33%が「フルタイム勤務者」
- 就業者の業種は 8%が「電機」、13%が「その他サービス」
- 職種は 25%が「科学／技術職」、16%が「事務職」、14%が「マーケティング／販売」
- 80%は英語学習期間が 6 年超
- 英語学習において最も重視される技能としては、22%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」、同じく 22%が「リスニング&スピーキング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、41%が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、34%が「リーディング」、20%が「リスニング」を選択
- 33%は英語でのやりとりに「時々」苦労すると回答
- 6 カ月以上の英語圏滞在経験者はわずか 10%
- 英語圏滞在目的としては、30%が「旅行」、29%「英語学習プログラムへの参加」と回答
- TOEIC L&R の受験経験については、37%が「3 回以上」と回答
- 受験目的については、29%が「英語学習のため」、28%が「卒業に必要なため」、24%が「就職活動のため」と回答

TOEIC® L&R の国・地域別平均スコア

以下の図 1 は、TOEIC L&R の平均スコアと標準偏差を地域別に集計したものです。次ページの表 1 には受験者の母国別の平均スコアを集計しています。ただし、受験者が TOEIC L&R を受

験した国・地域とは必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、TOEIC L&R の年間の総受験者数が 500 名以上の国・地域のみを掲載しています。

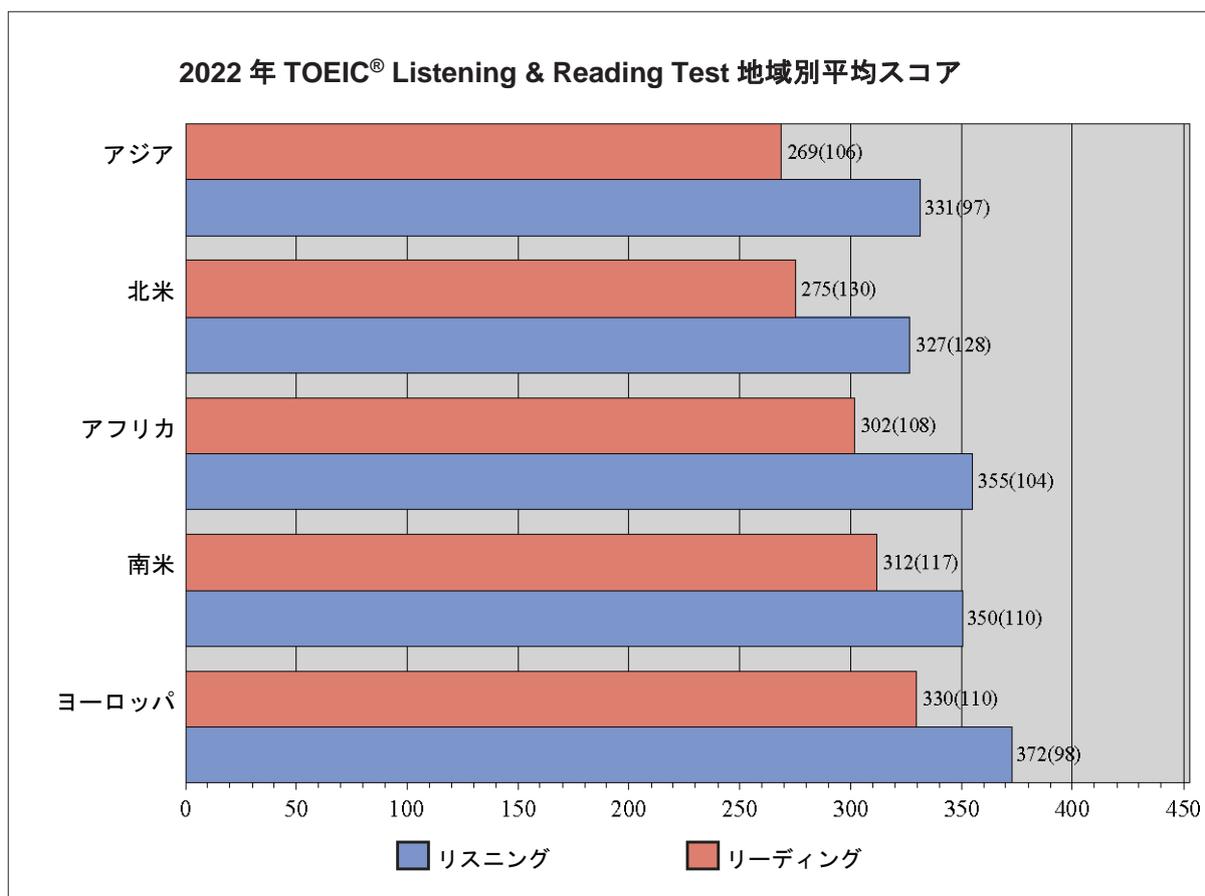


図 1 : TOEIC L&R 地域別平均スコア

*注：各チャートには受験者が 500 名以上の国・地域のみ掲載されています。メキシコは北米に含まれます。

表 1 : 国・地域別平均スコア

国・地域名	リスニング		リーディング		トータル	
	平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
アルバニア	300	(100)	256	(99)	556	(193)
アルジェリア	358	(102)	301	(108)	660	(204)
ベルギー	402	(87)	370	(98)	771	(179)
ベナン	313	(113)	275	(106)	587	(212)
ブラジル	357	(104)	319	(110)	675	(207)
ブルキナファソ	300	(100)	261	(97)	561	(189)
カメルーン	328	(100)	280	(100)	609	(191)
チリ	338	(121)	295	(133)	633	(249)
中華人民共和国	286	(100)	262	(101)	548	(193)
コロンビア	350	(107)	316	(110)	666	(209)
コンゴ共和国	284	(114)	231	(107)	515	(214)
コスタリカ	396	(91)	333	(108)	729	(194)
コートジボワール	312	(107)	274	(104)	585	(203)
エジプト	374	(85)	296	(95)	670	(172)
フランス	372	(99)	330	(112)	702	(205)
ガボン	292	(106)	240	(105)	533	(203)
ドイツ	439	(71)	384	(100)	823	(166)
ギリシャ	343	(81)	280	(82)	623	(154)
香港	300	(113)	229	(120)	529	(226)
インドネシア	274	(111)	198	(105)	472	(208)
イタリア	403	(88)	369	(101)	773	(184)
日本	309	(91)	252	(99)	561	(182)
ヨルダン	375	(100)	311	(115)	686	(210)
韓国	374	(82)	301	(103)	675	(178)
レバノン	426	(73)	378	(89)	804	(156)
マダガスカル	359	(102)	314	(107)	673	(203)
マレーシア	360	(94)	286	(114)	647	(202)
メキシコ	301	(130)	254	(131)	555	(256)
モンゴル	308	(97)	223	(102)	531	(191)
モロッコ	387	(91)	330	(102)	717	(186)
ミャンマー (旧ビルマ)	359	(99)	309	(113)	668	(207)
ペルー	358	(102)	333	(104)	690	(199)
フィリピン	407	(74)	341	(92)	749	(159)
ポーランド	361	(102)	302	(116)	663	(211)
レユニオン	304	(113)	254	(118)	558	(226)
セネガル	298	(118)	251	(113)	549	(224)
スペイン	386	(86)	362	(91)	749	(170)
台湾	308	(102)	259	(109)	568	(204)
タイ	302	(106)	225	(106)	526	(205)
チュニジア	384	(91)	333	(100)	717	(184)
ベトナム	293	(96)	245	(102)	538	(191)

*SD=標準偏差

TOEIC® L&R のリスニングとリーディングのスコアの関係

TOEIC L&R のリスニングセクションとリーディングセクションのスコア間の相関値は約 0.85 でした（本資料 32 ページ「資料 C」に、地域別のリスニングとリーディングの相関値を掲載）。これは過去の研究結果と『2021 Worldwide Data Report』で示された知見と一致しています。そ

れぞれのテストがビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定し、同時に受験者がどちらも均等に学習していると仮定すると、この相関値は双方の関連性が高いことを示しています。

カテゴリー別集計

表 2 は、各受験者層の人数割合（%）と TOEIC L&R およびトータルの平均スコアを示しています。各カテゴリーの受験者の詳細な情報は本報

告書の後半に示されています。本報告書で 사용되는カテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : カテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
年齢	26～30 歳	14.9	363	(90)	302	(103)	664	(184)
	31～35 歳	7.2	350	(95)	294	(105)	644	(192)
	21～25 歳	44.1	341	(95)	279	(106)	620	(193)
	46 歳以上	5.2	333	(96)	283	(105)	616	(194)
	36～40 歳	4.6	335	(97)	280	(105)	614	(194)
	41～45 歳	3.4	330	(96)	277	(105)	607	(194)
	20 歳以下	20.6	296	(99)	231	(105)	527	(196)
性別	女性	48.8	343	(96)	277	(107)	621	(195)
	男性	51.2	326	(99)	270	(108)	597	(199)
学歴	大学院	12.6	362	(88)	318	(98)	680	(179)
	大学	56.6	346	(91)	288	(101)	634	(184)
	高校	7.3	305	(104)	243	(112)	549	(207)
	中学校	0.7	295	(110)	217	(111)	512	(213)
	小学校	0.3	285	(112)	219	(112)	504	(216)
	短大	14.5	283	(91)	217	(93)	500	(176)
	語学学校	1.2	289	(102)	201	(102)	489	(195)
	専門学校	3.7	272	(103)	203	(101)	475	(197)
	高専	3.1	266	(91)	189	(88)	455	(171)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
専攻科目	社会学	10.7	345	(93)	291	(105)	637	(189)
	教養学	18.6	348	(93)	284	(106)	631	(191)
	経営学	17.7	339	(97)	285	(106)	623	(196)
	医療関連	6.7	340	(94)	279	(107)	619	(192)
	科学	12.1	329	(93)	279	(102)	608	(187)
	工学	24.7	317	(94)	261	(103)	578	(189)
	その他	9.5	313	(103)	250	(110)	562	(205)
就業状況	非就業者	6.4	365	(88)	300	(103)	665	(182)
	パートタイム勤務者	5.6	334	(107)	276	(117)	611	(216)
	フルタイム勤務者	32.8	331	(97)	276	(106)	607	(195)
	全日制学生	55.2	321	(96)	261	(106)	582	(194)
業種	国際団体	0.1	398	(93)	353	(110)	751	(198)
	教育機関 (高校以下)	2.7	371	(92)	323	(103)	694	(187)
	公共事業 (電気/ガス)	1.6	370	(84)	321	(94)	691	(170)
	マスコミ	1.3	373	(88)	318	(103)	691	(183)
	教育機関 (大学以上)	2.6	368	(100)	317	(113)	685	(206)
	その他	6.2	358	(96)	304	(108)	663	(197)
	保険	1.1	354	(85)	305	(95)	659	(171)
	金融	5.9	352	(91)	305	(101)	657	(185)
	医薬品	2.3	349	(83)	300	(93)	649	(169)
	商社	3.5	349	(91)	293	(101)	641	(185)
	不動産	0.8	349	(90)	292	(101)	641	(183)
	通信	2.2	343	(89)	290	(101)	633	(183)
	医療	3.7	343	(92)	284	(104)	627	(189)
	その他サービス	12.9	340	(92)	286	(102)	626	(186)
	アパレル	0.5	345	(93)	276	(104)	621	(189)
政府/役所/公益団体	5.6	332	(99)	282	(107)	614	(199)	

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		トータル		
		平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*	
業種 (続き)	運輸	3.5	337	(90)	273	(98)	610	(179)
	食品	1.7	332	(98)	275	(107)	607	(198)
	軍隊/自衛隊	2.8	330	(103)	276	(116)	606	(212)
	旅行	2.6	338	(100)	268	(106)	606	(197)
	石油	0.7	324	(106)	277	(111)	600	(210)
	小売/卸し	2.3	329	(101)	268	(107)	597	(201)
	ガラス	0.2	324	(92)	271	(101)	595	(186)
	化学	3.3	319	(92)	271	(98)	590	(183)
	農業	0.7	322	(104)	267	(111)	589	(208)
	建設	2.6	319	(101)	261	(109)	580	(203)
	その他製造	3.0	318	(103)	262	(112)	579	(209)
	機械	6.1	303	(96)	246	(103)	549	(192)
	金属	1.8	299	(95)	248	(101)	548	(188)
	自動車	6.7	301	(90)	241	(99)	541	(182)
	電機	7.8	293	(99)	245	(104)	537	(196)
繊維	0.9	281	(101)	225	(106)	506	(200)	
職種	教師/講師	6.0	368	(98)	318	(109)	686	(200)
	専門職	9.7	350	(89)	306	(99)	656	(181)
	経営者	6.1	346	(101)	301	(110)	647	(204)
	事務職	16.0	352	(93)	294	(105)	647	(190)
	サービス業	6.4	347	(98)	287	(107)	633	(196)
	マーケティング/販売	14.3	340	(90)	284	(99)	623	(182)
	科学/技術職	24.9	317	(91)	265	(101)	582	(184)
	その他	8.9	314	(109)	259	(117)	573	(219)
	技術者	7.7	309	(100)	255	(104)	564	(196)
英語学習期間	10年超	46.9	366	(87)	311	(101)	677	(180)
	6年超~10年	33.3	312	(90)	254	(98)	566	(180)
	4年超~6年	10.3	291	(95)	228	(99)	519	(186)
	4年以下	9.5	279	(96)	215	(100)	494	(188)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	22.1	363	(95)	308	(109)	672	(197)
	スピーキング	14.2	339	(95)	274	(106)	613	(193)
	リーディング&ライティング	6.1	328	(96)	280	(107)	608	(196)
	リスニング&スピーキング	21.8	336	(93)	269	(105)	606	(190)
	リーディング	20.9	306	(88)	261	(96)	566	(176)
	リスニング	12.8	312	(95)	249	(103)	561	(190)
	ライティング	2.1	304	(106)	250	(114)	554	(213)
日常生活での英語使用率	51~100%	4.4	397	(86)	340	(106)	737	(185)
	21~50%	12.8	368	(90)	309	(106)	677	(189)
	11~20%	19.7	348	(93)	289	(106)	637	(191)
	1~10%	41.2	324	(94)	266	(103)	589	(189)
	なし	21.8	299	(92)	244	(98)	544	(182)
最も使用する英語技能	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	9.7	375	(91)	316	(108)	691	(192)
	リーディング&ライティング	7.7	352	(93)	299	(106)	652	(191)
	リスニング&スピーキング	15.6	341	(92)	272	(104)	613	(188)
	リーディング	34.4	321	(92)	274	(101)	595	(185)
	リスニング	20.1	324	(98)	261	(107)	586	(198)
	ライティング	2.8	312	(105)	257	(111)	568	(208)
	スピーキング	9.7	317	(100)	249	(107)	567	(200)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	時々	32.9	348	(91)	290	(103)	638	(186)
	あまりない	21.8	341	(97)	286	(108)	627	(197)
	頻繁にある	17.2	329	(89)	267	(101)	596	(181)
	ほとんどない	19.0	315	(100)	263	(109)	578	(202)
	ほぼ常時	9.1	295	(97)	231	(103)	526	(191)

*SD=標準偏差

表 2 : カテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
英語圏滞在期間	2年超	3.6	422	(77)	363	(98)	785	(168)
	1年～2年	2.2	400	(85)	338	(103)	738	(181)
	6カ月～12カ月	3.9	391	(84)	327	(101)	718	(178)
	6カ月未満	20.1	350	(87)	289	(100)	639	(179)
	なし	70.3	317	(95)	261	(104)	578	(191)
英語圏滞在目的	進学のため	19.6	391	(90)	332	(107)	723	(190)
	その他	8.0	386	(93)	322	(109)	708	(195)
	仕事のため	14.2	369	(90)	315	(104)	685	(187)
	英語学習プログラム参加のため	28.7	367	(83)	301	(97)	668	(172)
	旅行のため	29.6	347	(88)	287	(101)	635	(181)
TOEIC L&R 受験回数	3回以上	37.2	356	(84)	295	(97)	650	(173)
	2回	11.7	334	(92)	275	(103)	609	(186)
	1回	18.8	323	(96)	265	(107)	587	(195)
	なし	32.2	310	(103)	256	(113)	566	(209)
TOEIC L&R 受験目的	就職活動のため	24.2	349	(91)	285	(104)	634	(186)
	英語学習のため	28.9	334	(94)	277	(105)	612	(191)
	卒業に必要なため	27.8	322	(100)	266	(111)	588	(204)
	英語学習プログラムの結果を測るため	8.5	321	(100)	263	(108)	584	(200)
	昇進・昇格のため	10.7	310	(95)	252	(102)	562	(189)

*SD=標準偏差

年齢

どの国・地域でも TOEIC L&R 受験者の年齢別割合は「21～25 歳」が最も高く（44%）、「20 歳以下」が 21%、「26～30 歳」が 15%、「31 歳以上」が 20%となっています。

「20 歳以下」の割合が高いのは、ギリシャ（62%）、エジプト（53%）です。「21～25

歳」の割合が高いのは、レバノン（80%）、モロッコ（77%）。「26～30 歳」の割合が高いのは、コンゴ共和国（35%）、ガボン（34%）となっています。

図 2 は TOEIC L&R の年齢別平均スコアを表しています。

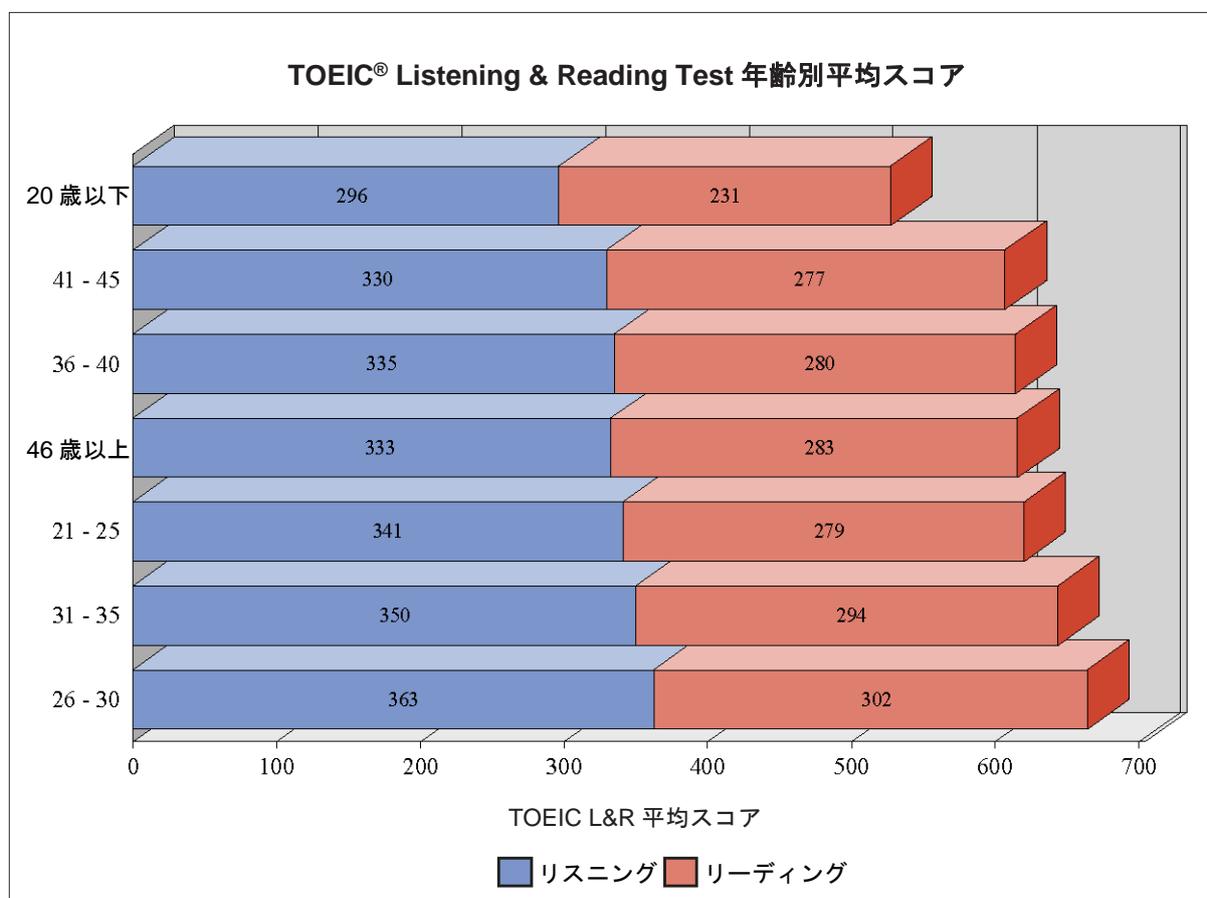


図 2 : TOEIC L&R 年齢別平均スコア

性別

全体として、TOEIC L&R 受験者は男性（51%）の割合が女性（49%）よりもわずかに高くなっています（表 2 参照）。

国・地域別で見ると、女性よりも男性の割合が高いのは、ブルキナファソ（67%）、ベルギー（65%）、ベナン（63%）です。一方、女性の

割合が男性より高い国も存在します。ミャンマー（72%）、タイ（65%）、ポーランド（62%）、コスタリカ（60%）がその例です。

図 3 は、リスニングとリーディングの両方において男性より女性の平均スコアの方が高くなっていることを示しています。

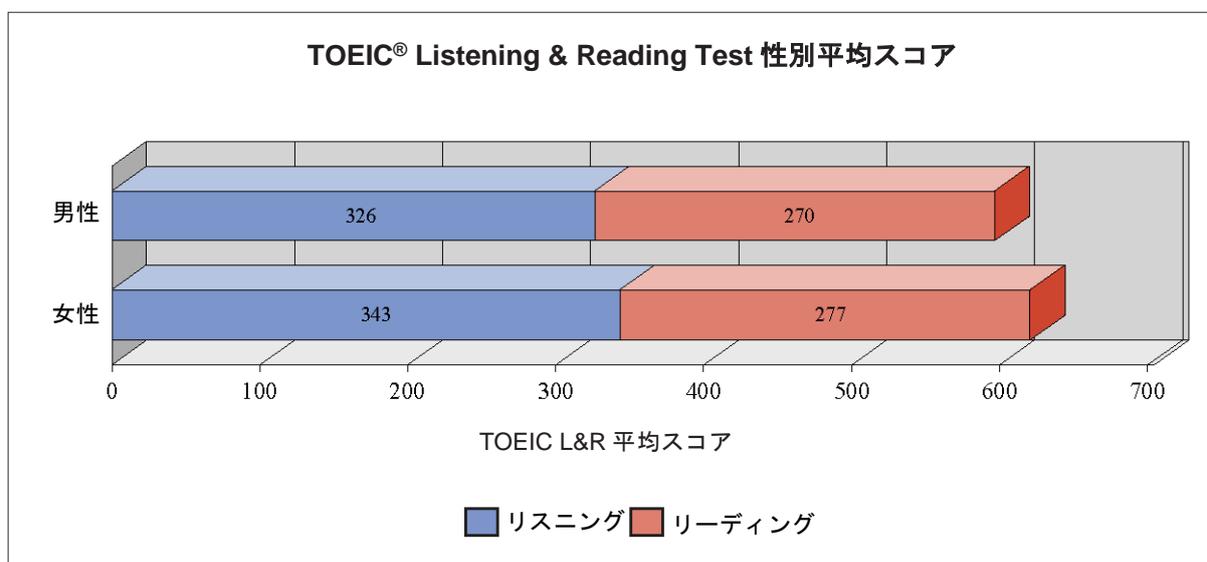


図 3 : TOEIC L&R 性別平均スコア

学歴

受験者の半数以上（57%）は、バックグラウンドアンケート回答時点の学歴が大学卒（学士取得）または大学在学中でした。男性（55%）よりも女性（59%）の方が大学卒または大学在学中の割合が高くなっています。一方、大学院卒または大学院在学中の割合については、女性（10%）よりも男性（15%）の方が高い結果となりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、

学歴について一律で比較することはできませんが、フィリピン（81%）、韓国（77%）、タイ（77%）においては大学卒または大学在学中の受験者の割合が高いことがわかります。ブルキナファソ（79%）、モロッコ（68%）、ベナン（65%）、チュニジア（64%）では大学院卒または大学院在学中、チリ（36%）では専門学校卒（高校卒業後取得）の割合が高くなりました。

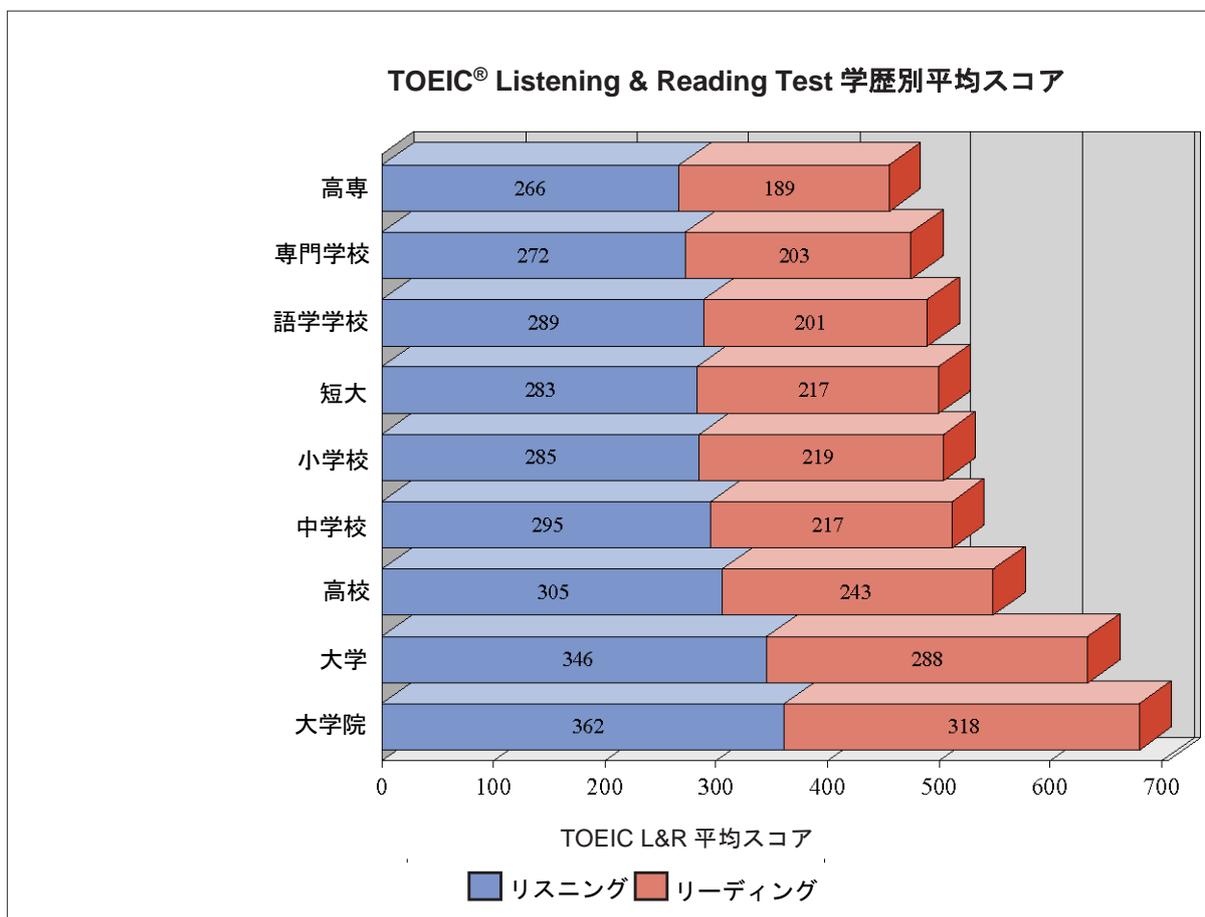


図 4 : TOEIC L&R 学歴別平均スコア

専攻科目

受験者の専攻科目で最も多いのは「工学」(25%)です。「工学」専攻の受験者が特に多い国は、ブルキナファソ(65%)、カメルーン(55%)、ベナン(46%)、ベルギー(45%)となっています。2番目に多い専攻科目は「教養学」(19%)、3番目に多いのは「経営学」(18%)でした。「教養学」専攻の受験者が最も多かったのは、コスタリカ(27%)です。「経営学」専攻の受験者が多い国は、ペルー(52%)、アルバニア(49%)、イタリア(44%)、マダガスカル(40%)などでした。

各専攻科目が全体に占める割合を性別ごとに比較すると、「教養学」専攻については男性(11%)よりも女性(28%)、「工学」専攻については女性(11%)よりも男性(36%)の方が高い結果となりました。

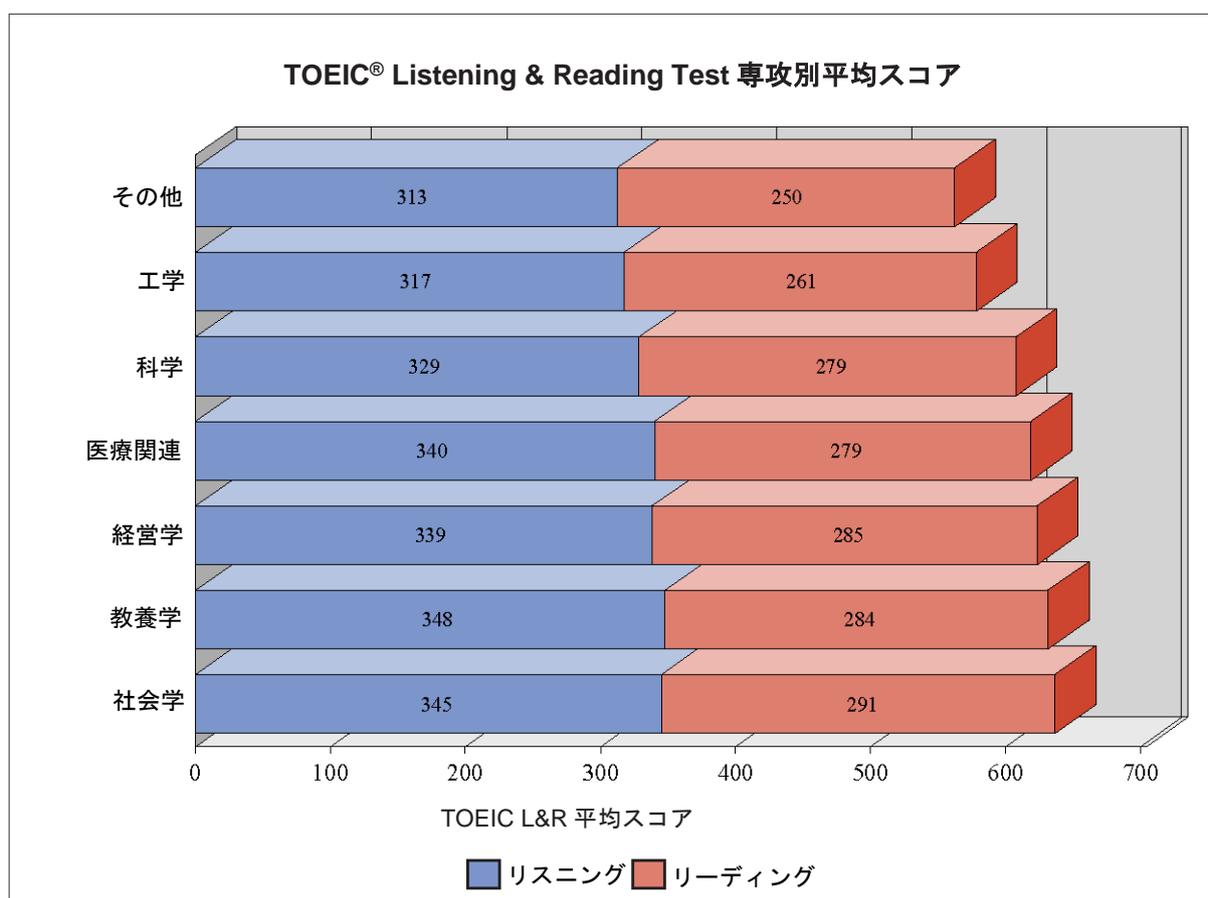


図 5 : TOEIC L&R 専攻別平均スコア

就業状況

受験者の過半数は「全日制学生」（55%）です。「全日制学生」の割合が特に高い国としては、フィリピン（82%）、ベルギー（82%）、ブルキナファソ（77%）、カメルーン（77%）が挙げられます。

また、受験者の33%は「フルタイム勤務者」です。「フルタイム勤務者」の割合が特に高い国

は、中国（71%）、モンゴル（67%）、ペルー（62%）、ブラジル（52%）となっています。

それぞれが占める割合を性別ごとに比較すると、「フルタイム勤務者」については女性（26%）よりも男性（39%）、「全日制学生」については男性（52%）よりも女性（60%）の方が高くなっています。

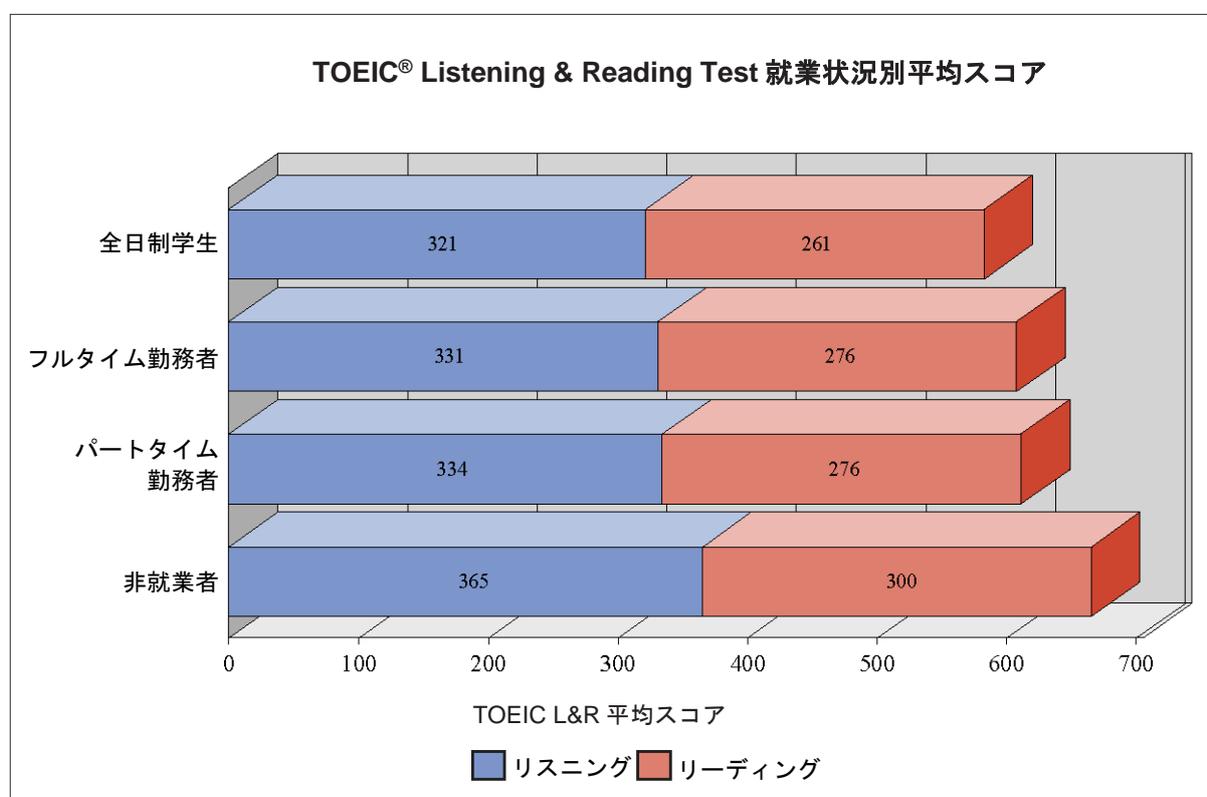


図 6 : TOEIC L&R 就業状況別平均スコア

業種

表 2に見られるように、フルタイム勤務者の大半は「製造業」または「サービス業」に従事しています。

図 7a（サービス業）、7b（製造業）、7c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC L&R 平均スコアを業種別に示したものです。

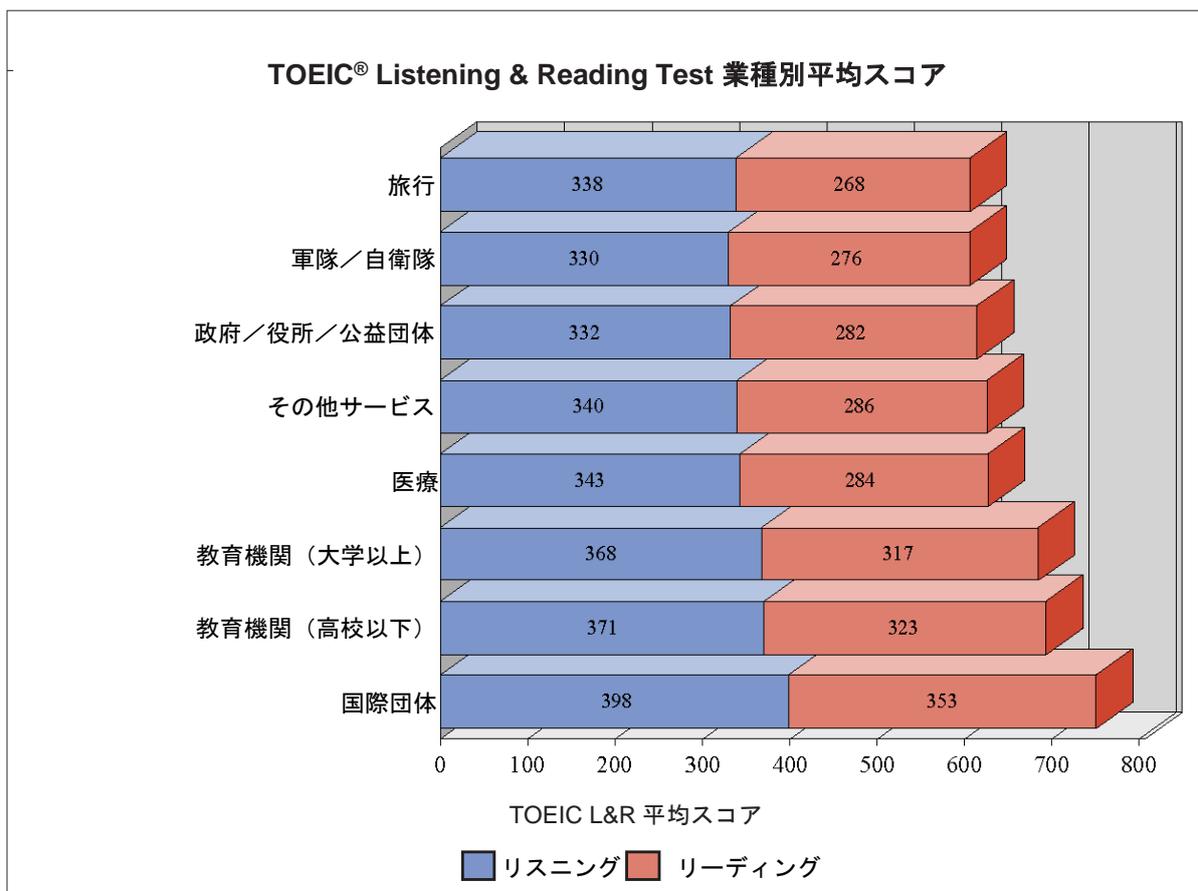


図 7a : TOEIC L&R 業種別平均スコア (サービス業)

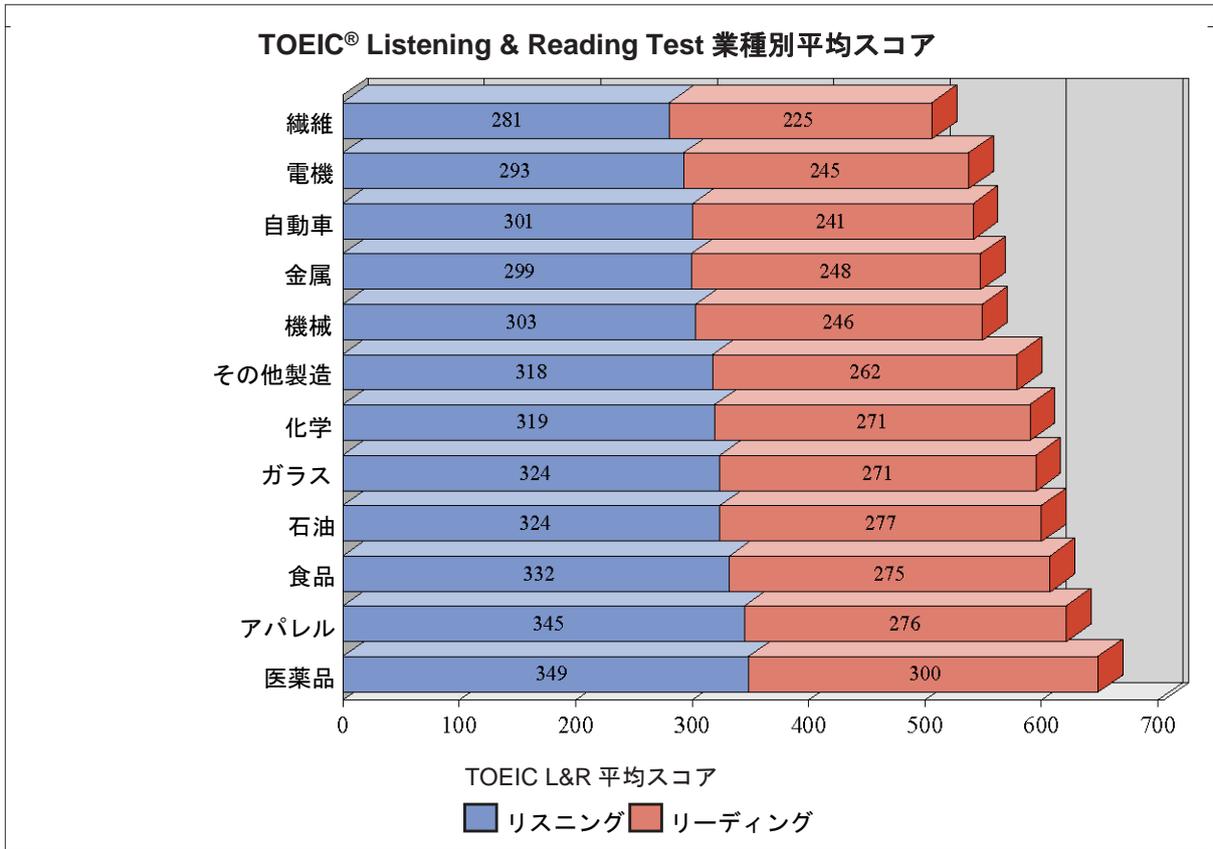


図 7b : TOEIC L&R 業種別平均スコア (製造業)

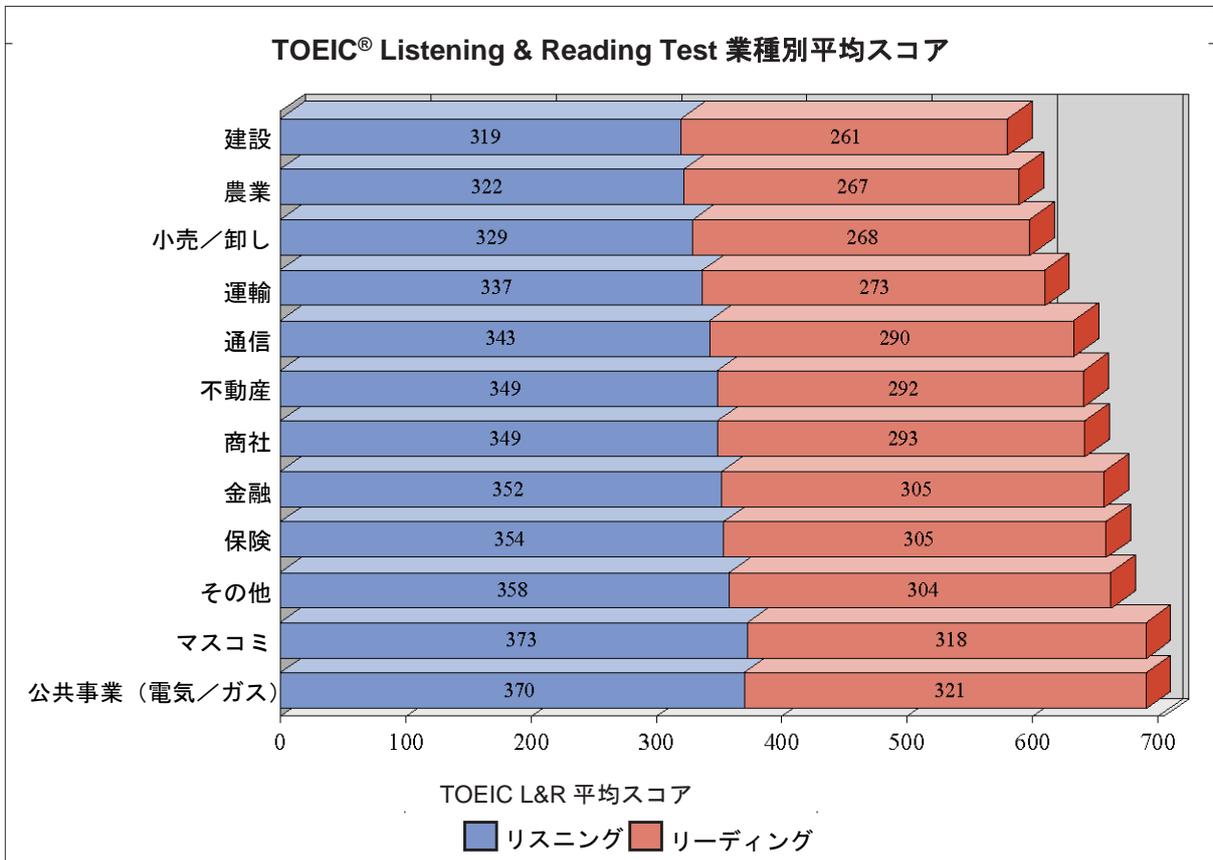


図 7c : TOEIC L&R 業種別平均スコア (その他)

職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。世界全体で最も多いのは「科学／技術職」（25％）です。

ブルキナファソ（38％）、日本（33％）、セネガル（32％）では「科学／技術職」の受験者が特に高い割合を占めています。受験者のうち「管理職」が最も多い国はヨルダン（100％）とエジプト（29％）、「教師／講師」が最も多い国はコスタリカ（36％）とフィリピン（29％）

です。

各職種が全体に占める割合を性別ごとに比較すると、「教師／講師」については男性（3％）よりも女性（10％）、「事務職」についても男性（11％）よりも女性（24％）の方が高くなっています。「科学／技術職」の割合は、女性（13％）よりも男性（32％）の方が高い結果となりました。

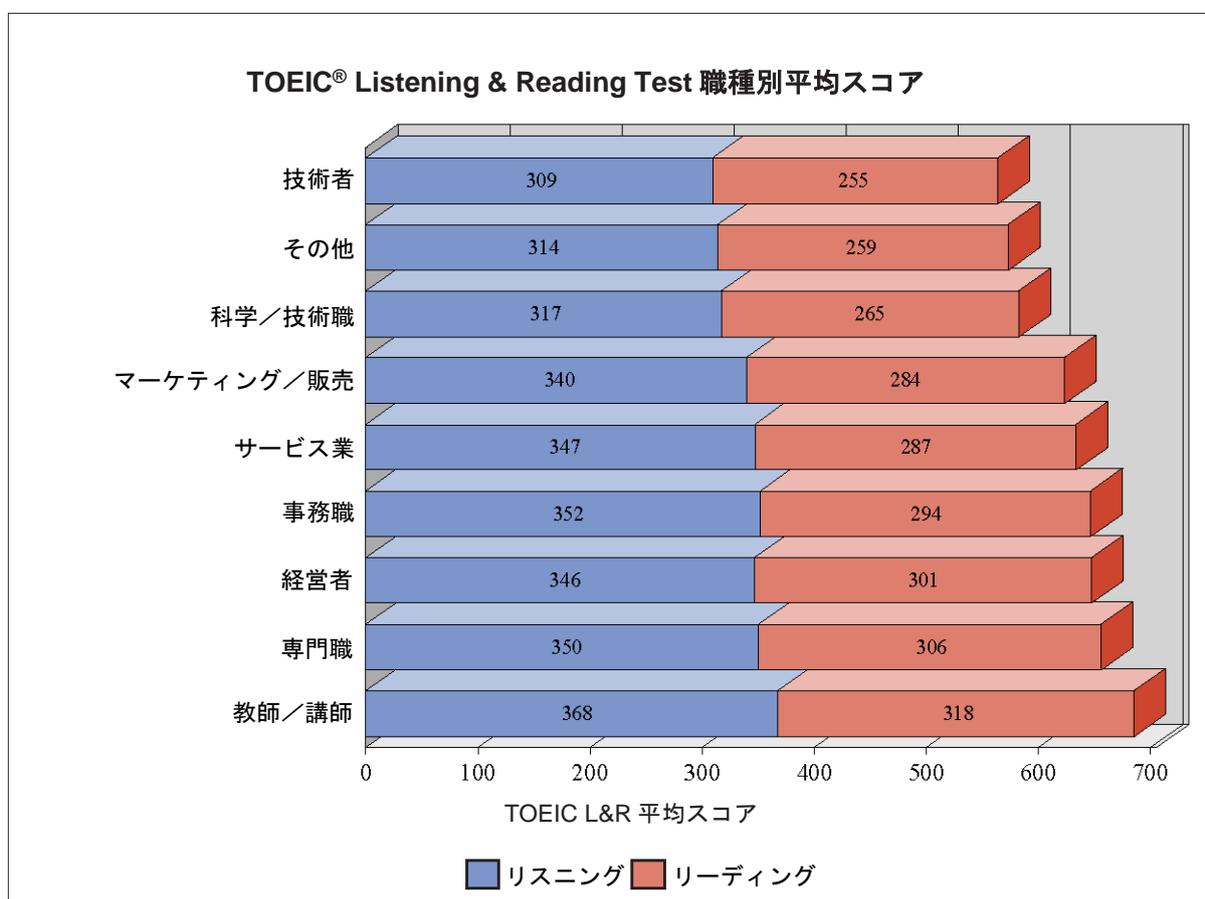


図 8 : TOEIC L&R 職種別平均スコア

英語学習期間

英語学習期間に関する 2022 年の受験者の回答は、前年以前とほぼ同様のパターンを示しています。2022 年の受験者全体の 80%は、6 年を超える英語学習経験があると答えています。

ペルー（52%）、ブラジル（38%）、コスタリカ（37%）、コンゴ共和国（36%）では学習期間が「4 年以下」の受験者が特に高い割合を占めるのに対し、エジプト（73%）、マレーシア（69%）、韓国（67%）などでは学習歴「10 年超」の受験者の割合が高くなっています。

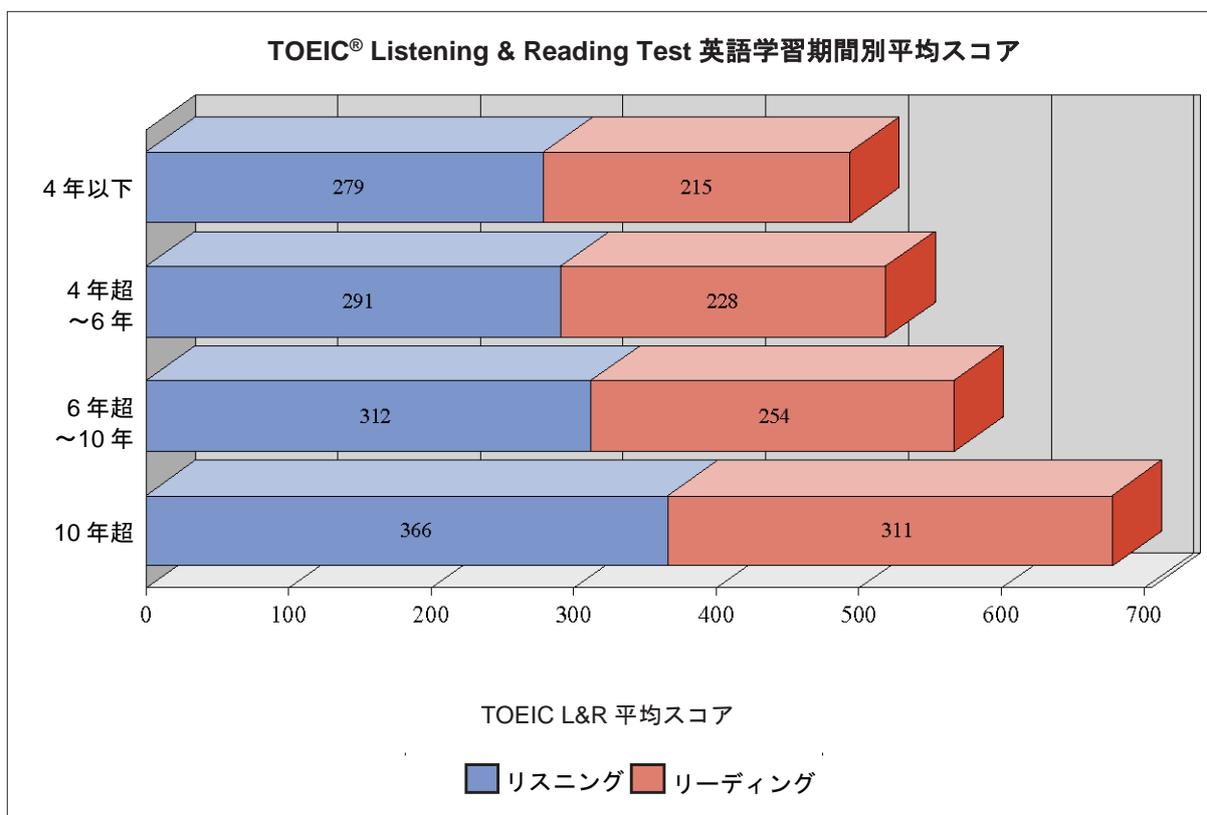


図 9 : TOEIC L&R 英語学習期間別平均スコア

英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の22%は、英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答。同じく22%の受験者は「リスニング&スピーキング」を最も重視すると

回答しました。

ベルギー（57%）、ブルキナファソ（54%）、レユニオン（52%）では、4技能すべてが重要であるという回答が特に高い割合を占めました。

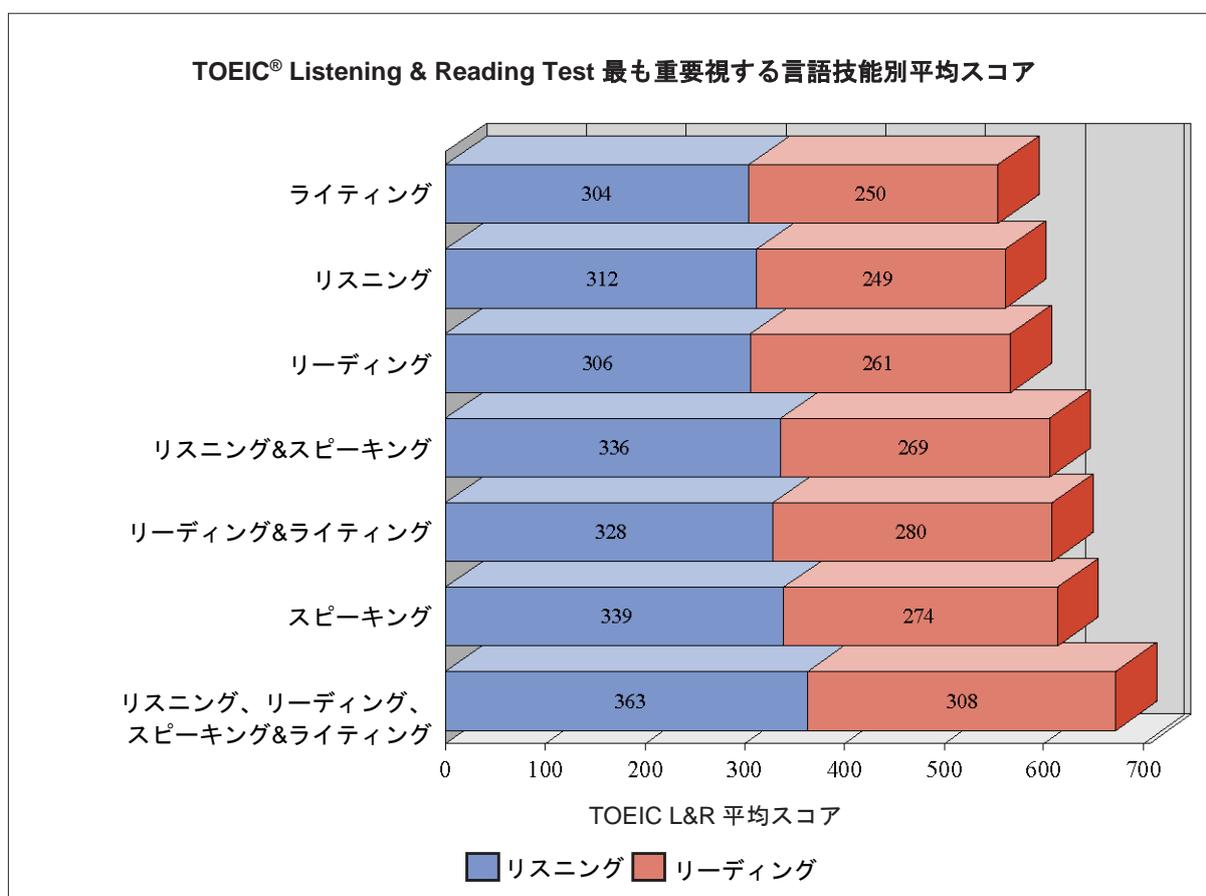


図 10 : TOEIC L&R 最も重要視する言語技能別平均スコア

日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、全体の41%が「1～10%」と回答しました。この回答が多数を占める国・地域としては、中国（44%）、台湾（43%）、日本（43%）、韓国（41%）、香港（40%）が挙げられます。

中国とモンゴル（ともに33%）では「11～20%」、ヨルダン（50%）とタイ（33%）では「51～100%」の割合で日常的に英語を使用するとの回答が多く見られました。

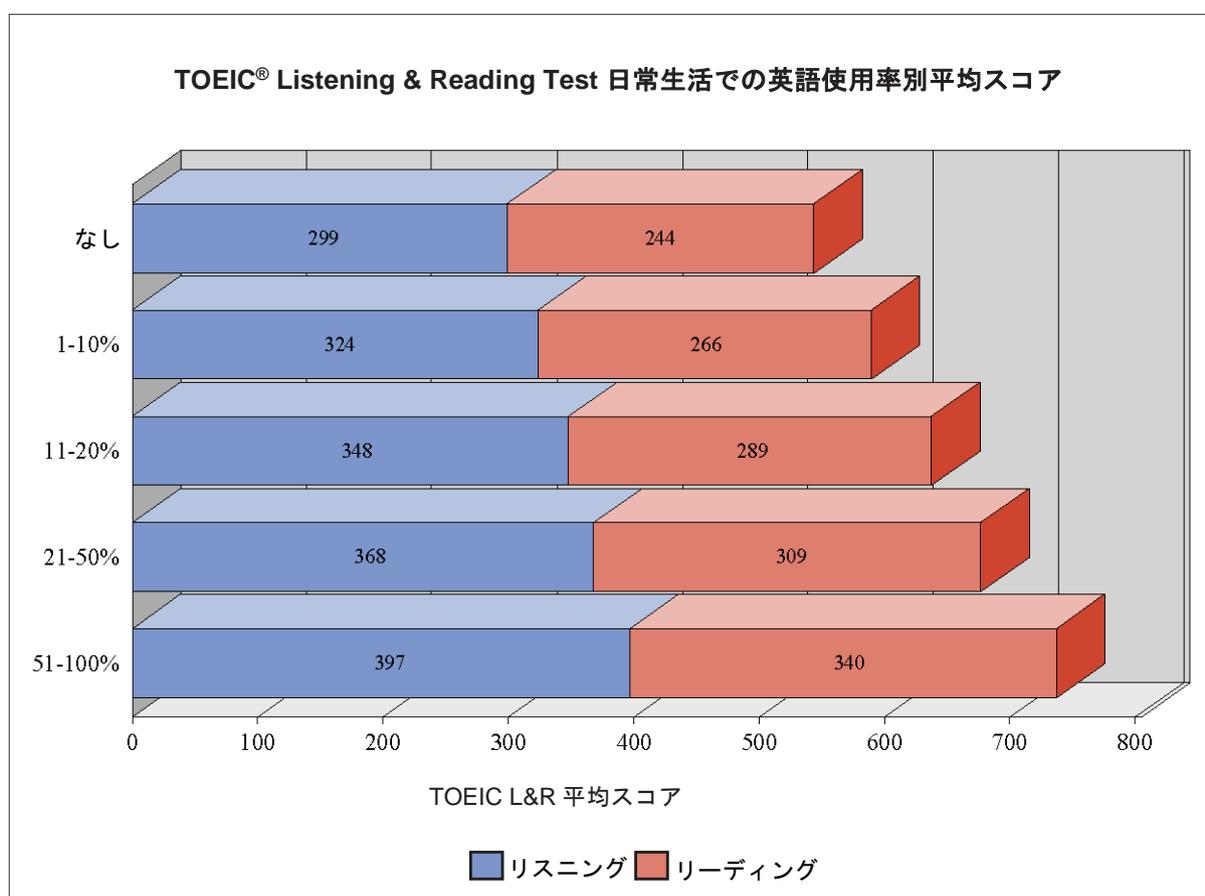


図 11 : TOEIC L&R 日常生活での英語使用率別平均スコア

最も使用する言語技能

受験者全体の34%は、最も使用する英語技能として「リーディング」を挙げています。この回答の割合が特に高い国・地域は、台湾（44%）、中国（41%）、日本（39%）、ペルー（38%）、ブラジル（38%）です。「リスニング」を最も使用すると回答した受験者の割合は全体の20%を占め、国・地域別ではレユニオン、ギリシャ、アルバニア（いずれも40%）などでその割合が高くなりました。4技能すべて

（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を同じくらい使用しているという回答の割合は、全体の10%にとどまっています。

各回答が全体に占める割合を性別ごとに比較すると、女性より男性の方が「リーディング」を最も使用する技能に挙げる傾向が見られました（男性38%、女性30%）。

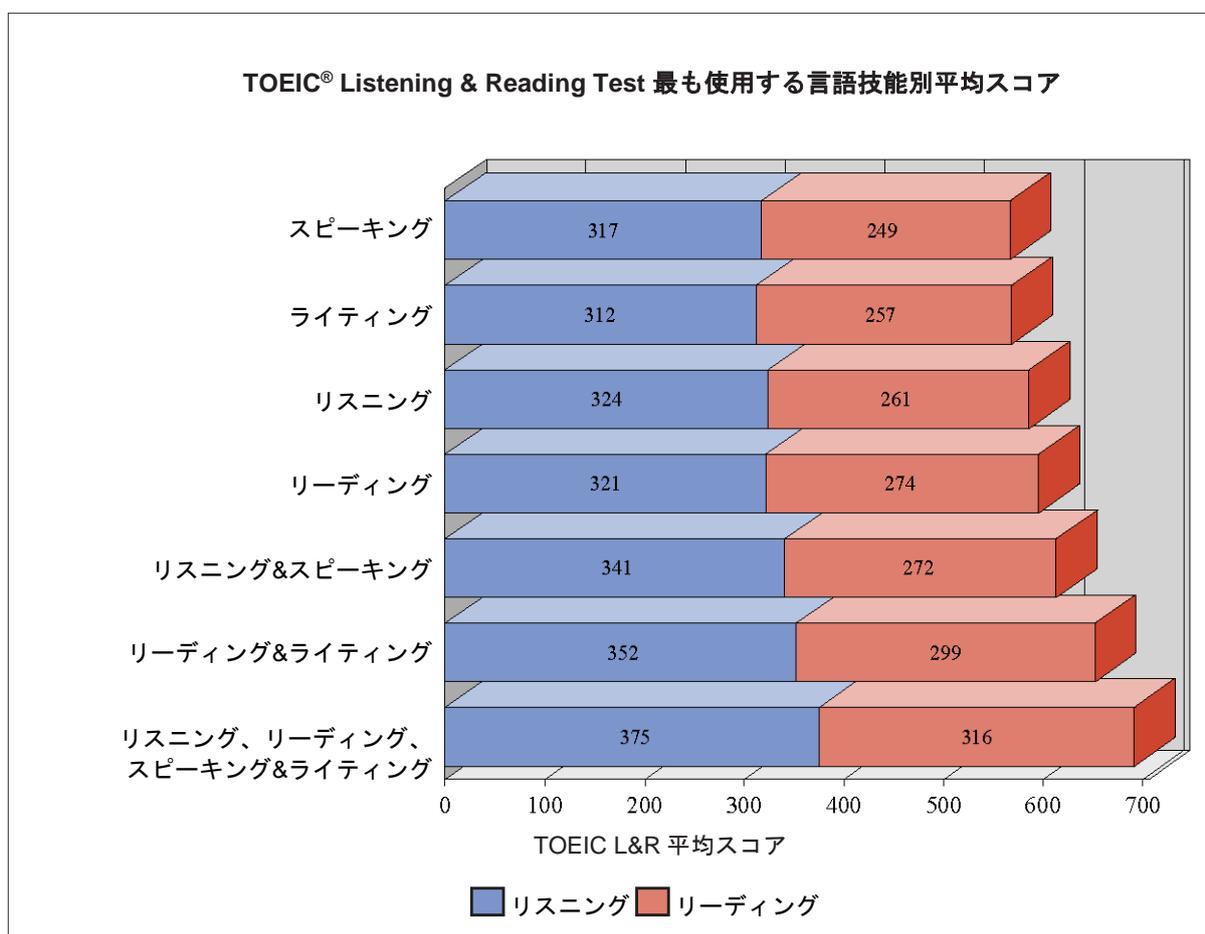


図 12 : TOEIC L&R 最も使用する英語技能別平均スコア

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体

の33%が「時々」、22%が「あまりない」、17%が「頻繁にある」と答えました。

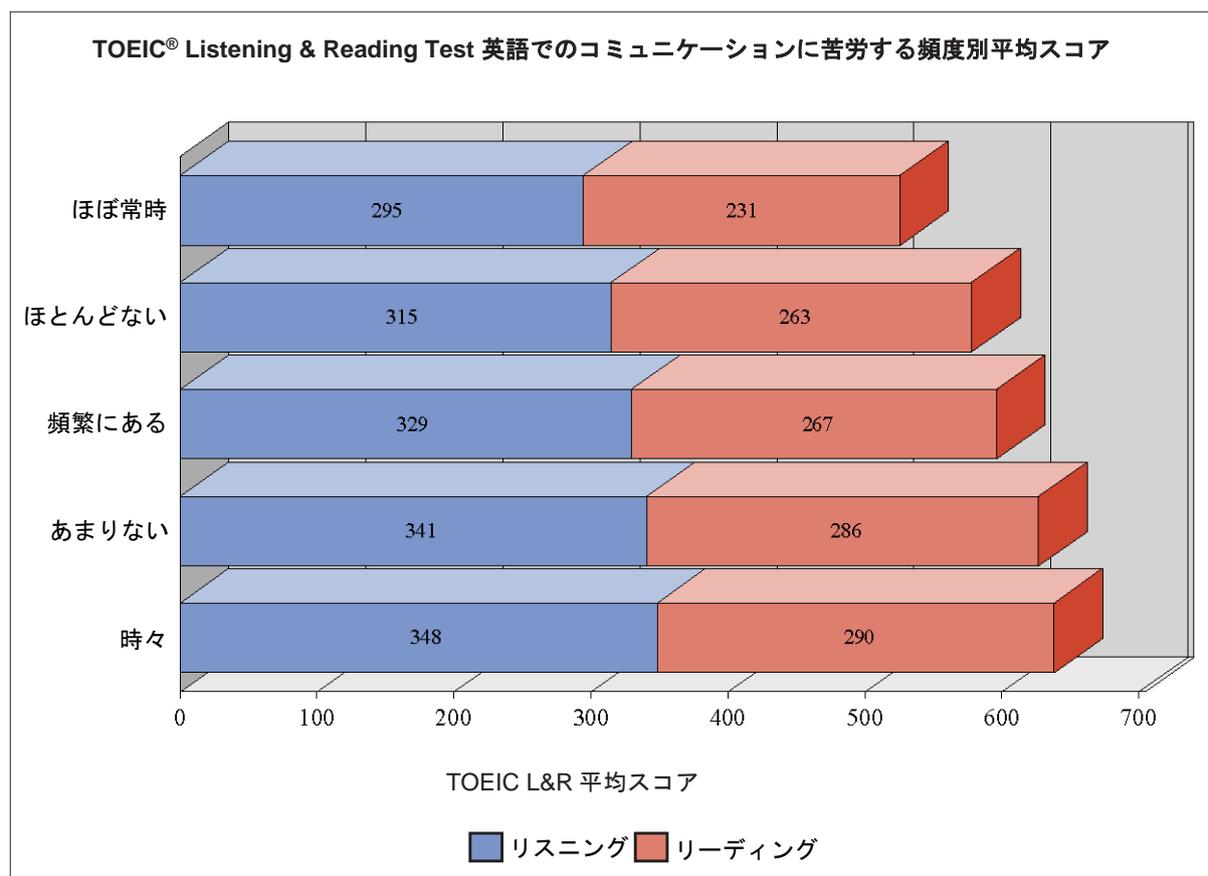


図 13 : TOEIC L&R 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度別平均スコア

英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対しては、6カ月以上の滞在経験があると回答した受験者は全体の10%

にとどまり、英語圏に滞在した経験がまったくないと回答した受験者が70%を占めています。

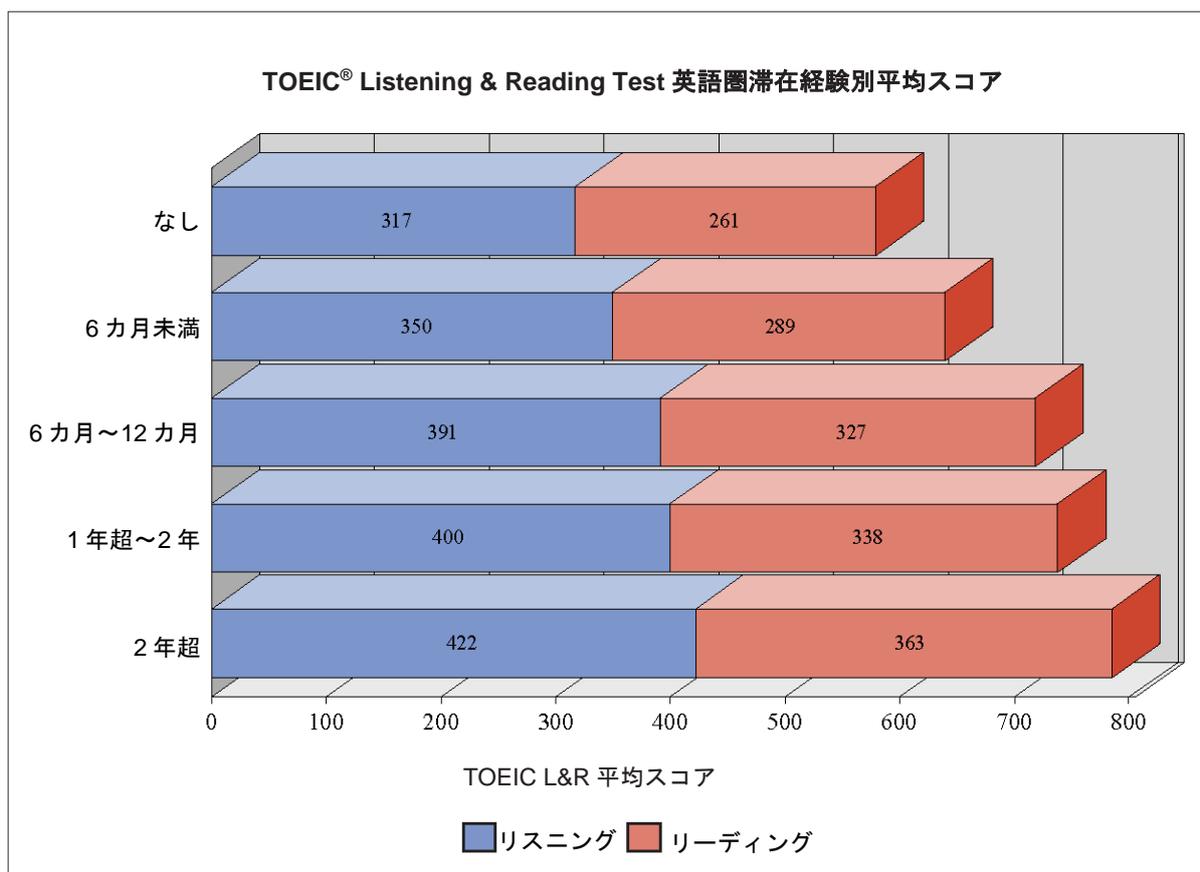


図 14 : TOEIC L&R 英語圏滞在経験別平均スコア

英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、29%の受験者が「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。また、30%が「旅行のため」と回答しています。

各回答の割合を性別ごとに比較すると、「英語学習プログラム参加のため」については男性（22%）よりも女性（35%）、「仕事のため」については女性（8%）よりも男性（20%）の方が高い結果となりました。

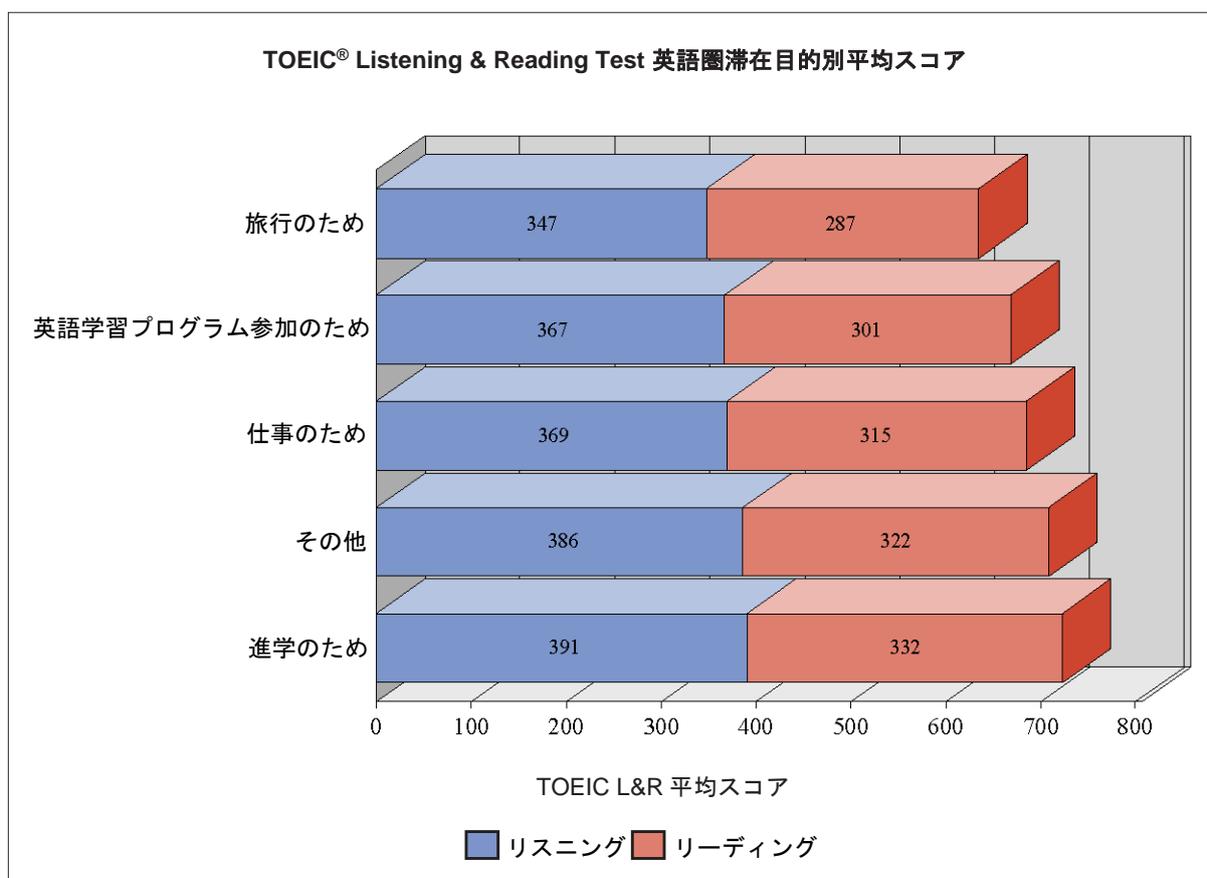


図 15 : TOEIC L&R 英語圏滞在目的別平均スコア

TOEIC® Listening & Reading Test の受験経験

過去に TOEIC L&R を受験したことのある受験者の割合は、国・地域によって大きく差が出ています。受験経験者の割合が低い国はレバノン（7%）、ポーランド（10%）、エジプト（10%）、高い国は日本（76%）、韓国（74%）となりました。

受験者の大半（68%）は以前に TOEIC L&R を受けたことがあると回答し、受験回数は「3回以上」が最大の割合（37%）を占めています。

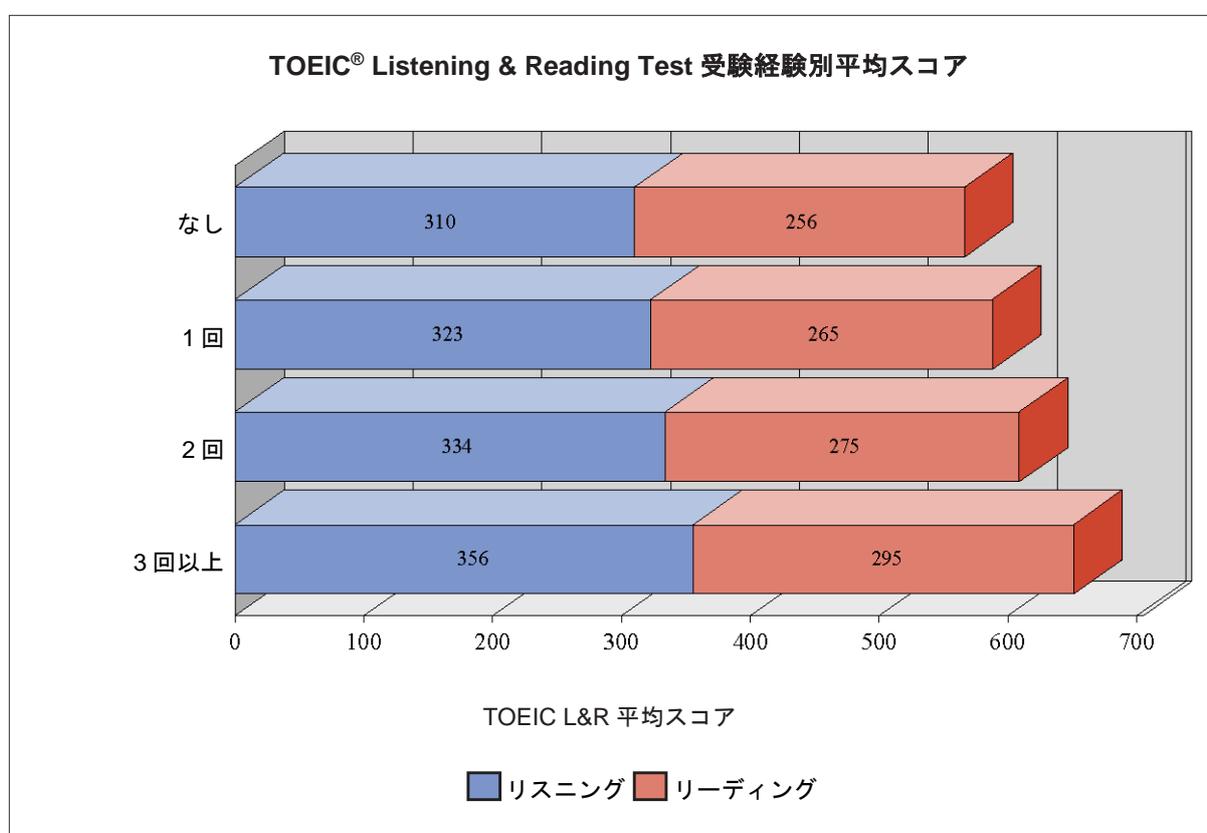


図 16 : TOEIC L&R 受験経験別平均スコア

TOEIC® Listening & Reading Test の受験目的

TOEIC L&R の受験目的として最も多かった回答は「英語学習のため」(29%)で、それに「卒業に必要なため」(28%)と「就職活動のため」(24%)が続いています。

モンゴル(48%)、タイ(47%)、コスタリカ(42%)、韓国(41%)では「就職活動のため」という回答が多く見られました。

「英語学習のため」という回答は、ミャンマー(46%)、ヨルダン(40%)、日本(39%)、香港(36%)で特に多く挙げられています。

「卒業に必要なため」という回答が特に多い国は、ブルキナファソ(88%)、ベナン(83%)、コートジボワール(80%)となりました。

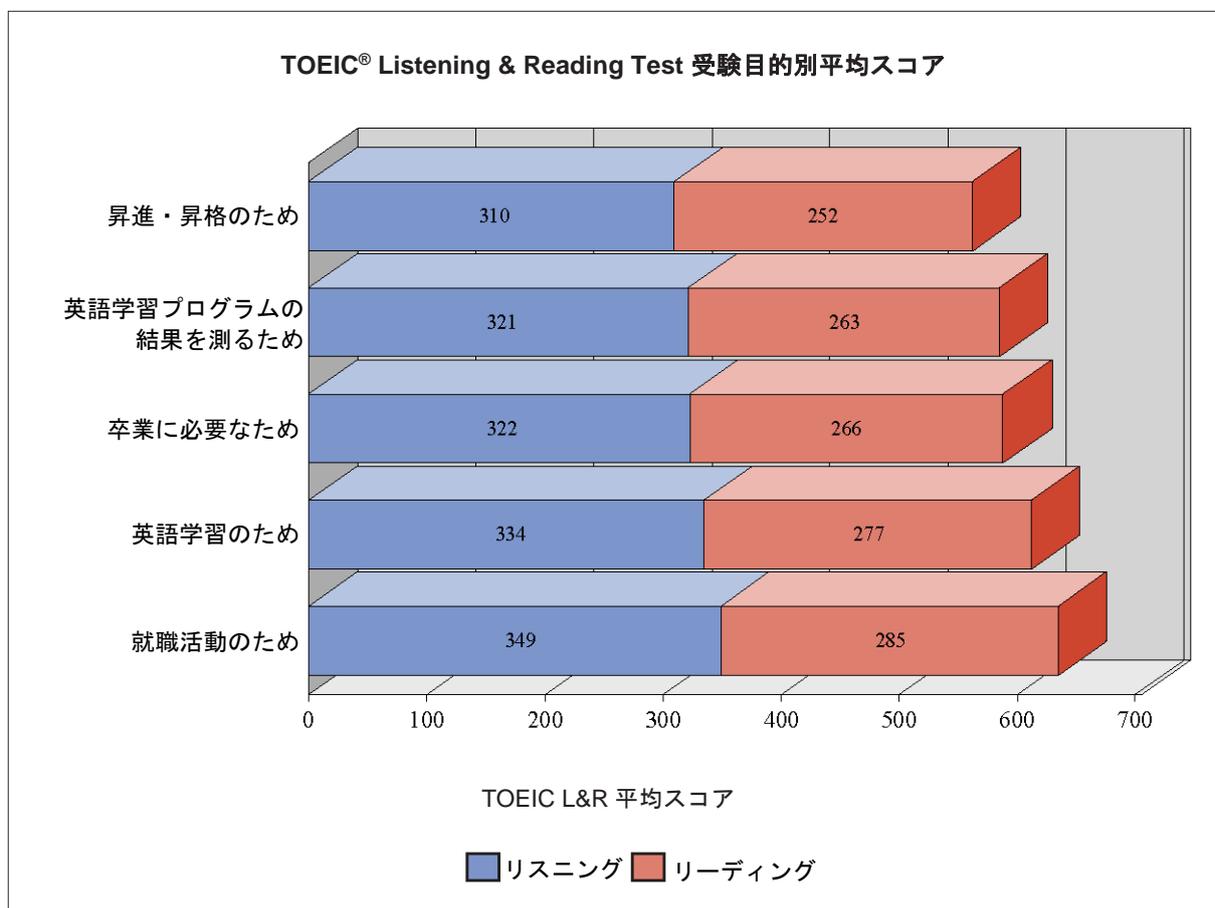


図 17 : TOEIC L&R 受験目的別平均スコア

資料 A



バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

セクション I.

学歴／職歴

- 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
 - 小学校
 - 中学校
 - 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
 - 専門学校／高専
 - 専門学校／高専（高校卒業後）
 - コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
 - 大学（学士号）
 - 大学院（修士号または博士号）
 - 語学学校
- 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。（カッコ内記載の科目は例）
 - 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
 - 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
 - 会計／経営／経済
 - 財務／マーケティング／貿易
 - 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
 - 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
 - 工学／建築
 - その他／なし
- 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
 - フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
 - パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
 - 無職（質問 6 へ）
 - 全日制学生（質問 6 へ）
- 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇主の事業は、次のどれが最も近いですか。
 - 農業／漁業／林業／鉱業
 - 建築／ビル設計
 - 製造 - 食品
 - 製造 - 薬品
 - 製造 - 化学
 - 製造 - 繊維／紙
 - 製造 - 石油／原油／ゴム
 - 製造 - 鋼鉄／その他金属
 - 製造 - 機械／精密機械
 - 製造 - 電機
 - 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
 - 製造 - セメント／ガラス
 - 製造 - 衣服
 - 製造 - その他
 - サービス - 教育（高校レベル以下）
 - サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
 - サービス - 裁判／法規／地方／県
 - サービス - 外務
 - サービス - 軍隊／自衛隊
 - サービス - 保健／病院／医療研究
 - サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
 - サービス - その他
 - 公共事業（電気／水）
 - 放送／マスメディア
 - 通信
 - 小売／卸売
 - 商社
 - 会計／銀行／財務／セキュリティ
 - 保険
 - 不動産
 - 運輸
 - その他
- 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。（カッコ内記載の職種は例）
 - 経営者（役員、管理職、理事）
 - 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
 - 教師／講師
 - 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

資料 A (続き)



バックグラウンドアンケート - ページ 2

- E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
- F. マーケティング／販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
- G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
- H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
- I. その他

セクション II.

英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
- A. 4 年以下
 - B. 4 年超～6 年
 - C. 6 年超～10 年
 - D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
- A. なし
 - B. 1～10%
 - C. 11～20%
 - D. 21～50%
 - E. 51～100%
9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

10. 英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか。
- A. ほとんどない
 - B. あまりない
 - C. 時々
 - D. 頻繁にある
 - E. ほぼ常時
11. 英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。
- A. なし（質問 13 へ）
 - B. 6 カ月未満
 - C. 6 カ月～12 カ月
 - D. 1 年～2 年
 - E. 2 年超～
12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。
- A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
 - B. 英語学習プログラム参加のため
 - C. 旅行のため（仕事に無関係）
 - D. 仕事のため
 - E. その他

セクション III.

TOEIC® L&R 受験経験

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC L&R を受験しましたか。
- A. なし
 - B. 1 回
 - C. 2 回
 - D. 3 回以上
14. 今回の TOEIC L&R の主な受験目的は何ですか。
- A. 就職活動のため
 - B. 昇進・昇格のため
 - C. 英語学習プログラムの結果を測るため
 - D. 将来の学習ニーズを知るため
 - E. 学習中のコース卒業のため

資料 B

各設問の回答率

	回答数	回答率
バックグラウンドアンケートの対象者総合計	3,222,821	.
学歴	2,291,969	71%
専攻科目	2,099,282	65%
就業状況	2,293,778	71%
業種	813,703	93%
職種	749,071	85%
英語学習期間	2,089,183	65%
最も重要視する言語技能	2,082,041	65%
日常生活での英語使用率	2,086,037	65%
最も使用する英語技能	2,065,118	64%
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	2,075,997	64%
英語圏滞在期間	2,066,717	64%
英語圏滞在目的	608,794	99%
TOEIC L&R 受験回数	2,089,433	65%
TOEIC L&R 受験目的	2,167,527	67%

*注：業種と職種については就業状況に関する別の設問で「パートタイム勤務」または「フルタイム勤務」と回答した 879,677 名を対象として回答率を計算しています。英語圏滞在目的については英語圏滞在期間に関する別の設問で「なし」以外の回答をした 614,833 名を対象として回答率を計算しています。

資料 C

地域別リスニングとリーディングスコアの相関

地域	相関値
アフリカ	0.87
アジア	0.84
ヨーロッパ	0.89
北米	0.92
南米	0.89



+



www.ets.org